

構内専用車両の運用状況及び車両整備について

2019年2月7日

東京電力ホールディングス株式会社

1.構内専用車両の運用状況及び車両整備について

1. 構内専用車両の運用状況について

- 2020年度中までに赤札車両(稼働車)を青札車両(使用禁止車両)として段階的に削減し、最終的には「ゼロ」を目指す。(青札率100%)
 - 青札車両(使用禁止車両)に代わるナンバー付車両の駐車場を確保するため、削減計画に基づき一時駐車場に移動し、区分明確化を図る。
 - 移動した青札車両(使用禁止車両)の扱いについては、今後処分方法を検討(コスト、物量等を考慮)
- ※ 震災以降、構外へ持ち出せない故障車を青札車両に登録したことから、登録台数が増となった。
 前回 1,031台 → 今回 1,111台 (80台増)

車両内訳は2019.1.30現在

登録台数	内訳		青札率 (%)	削減台数	削減計画			合計
	赤札車両 (稼働車)	青札車両 (不稼働車)			2018年度	2019年度	2020年度	
1,111	733	378	34%	残台数	378	338	395	1,111
					733	395	0	-

削減計画の台数については使用状況によって前後あり

2. 構内専用車両の整備状況について

- 未整備車両については2018年9月末をもって0台となり、現在は2回目以降の点検整備(24ヶ月点検)を継続して実施中。今後の整備については、削減計画を考慮した整備計画を策定中。

【参考】

◆ 【赤札車両(赤ステッカー)】

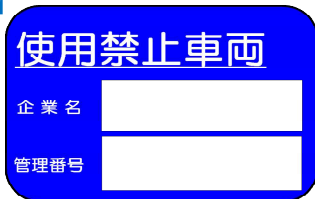
- スクリーニング結果により、構外に出られない車検切れ車両で今後も使用する車両(稼働車)
【点検整備対象】



◆ 【青札車両(青ステッカー)】

- 整備不能等による不稼働車両(使用禁止車両)
＜赤札車両→青札車両＞
【点検整備対象外】

(削減対象車両)



参考：構内専用建設用車両の整備状況について

▶ 構内専用建設用車両の整備状況については、下表のとおり

2018年12月25現在

会社	重機	種別	全台数	点検済台数	点検予定台数	点検内容
当社	自走式でない	クレーン	13	11	13	<p>年次点検：構内に整備士を呼び重機ヤードや各現場にて法定に基づく点検整備を実施 1回/年</p> <p>性能検査：構内に検査官を呼び重機ヤードや各現場にて検査 1回/2年</p>
		バックホー、ブルドーザー等	79	63	79	<p>構内の重機ヤードや各現場にて使用開始前に点検整備を実施</p> <p>全台数及び点検予定台数には未使用のために点検整備しないものを含む</p>
	自走式	ラフタークレーン、ユニック	20	12	20	<p>構内に整備士を呼び重機ヤードや各現場にて法定に基づく点検整備を実施 1回/年</p>